

今こそ  
若い力で  
新しい習志野。

# Report

関根ひろゆき

No  
66

令和七年第四回定例会  
市政報告



## 習志野市の財政状況について

**歳入:** 市税収入は堅調で過去最高水準。しかし、自主財源比率は低下傾向にあり、地方債などの依存財源が増加している。

**歳出:** 物価高騰、労務単価の上昇による物件費の増加、および公共施設再生事業(学校等の建て替え)の推進により、普通建設事業費が大幅に増加している。

**財政指標:** 財政力指数は0.91程度(類似団体平均並み)。高齢化に伴う社会保障関係費(扶助費)の増加も負担要因。

**見通し:** 財政計画上の想定を上回るペースで歳出が膨らんでおり、財政調整基金の取り崩しなどで対応している。

### 主な課題:

**公共施設再編:** 老朽化する公共施設の建て替え・維持費用の増大。

**社会保障費:** 高齢化に伴う扶助費の増大。

**基金の維持:** 財政調整基金の減少に対応した、持続可能な財政運営。

## 基金の活用状況

○ **財政調整基金繰入金 25億円**《前年度比 △5億円》

⇒ 市民サービスの充実のために各事業の財源として活用します。

R6 40億9千万円 → R7見込 27億円 → R8見込 2億2千万円

○ **公共施設等再生整備基金繰入金 5億円**《対前年度比 △2千万円》

⇒ 大久保小学校を含む公共施設等再編や、学校建設事業の財源として活用します。

R6 28億4千万円 → R7見込 22億4千万円 → R8見込 18億5千万円

○ **市債管理基金繰入金 19億4千万円**《対前年度比 10億3千万円》

⇒ 地方債の償還のための財源として活用します。

R6 28億5千万円 → R7見込 35億7千万円 → R8見込 16億4千万円

※ 一般会計の全基金残高の令和8年度末見込み

50億5千万円

(令和7年度末見込み98億4千万円、△47億9千万円)

毎年度必ず支出しなければならない経常経費を表す経常収支比率は**97.5%**。  
2.5%しか裏を返せば余力がないというような状況になっており、習志野市の  
この財政規模に当てはめれば、**数字上の余力としては約7億円程度**。

わかりやすく家庭に置き換えて考えます。

日本人の平均年収が478万円と言われており、月の手取りに換算すると約30万円。

経常経費を抜いた自由に使えるお金はこの場合  
**月に7,500円、年間で9万円です**。

これでは、中々新しい政策や取組を実施していくのは困難です。

また、令和7年度末の財政調整基金の残高が約**16億円**。

一般論として、財政調整基金の適正額というものは標準財政規模の10%というふうに言われております。

大規模災害時の初期対応費用、これらを賄うために、より強固な備えとして標準財政規模の20%というものを設定している自治体もある中で、習志野市は大体の目安として30億円が一つの指標として語られてまいりました。

しかしながら、その金額も今となっては大きく下回り、今後も大幅な増加は見込めず、**令和8年度の財政調整基金の見込みは約2億円**とかなり厳しい財政状況が強いられております。

今後、より一層の「**選択と集中**」、不必要と判断した各種政策を躊躇なく「**やめる勇気**」が自治体運営に求められます。

## 活動報告

## Report 関根ひろゆき



Instagram



ホームページ

### PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒業

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年二期目の当選

2023年三期目の当選

発行：関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 : 047-779-4092

討議資料

